

第89回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成31年4月3日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 18人

3 本日の自己紹介テーマ 「平成」

4 会議内容

(1) 民泊と学習塾から学ぶ「経営」＜報告＞

経営者は現状をきちんと把握し、常に先を見据えていることがイベントの中で語られていた。

特に民泊の話に対しては多くの質問が飛び、活発な意見交換がなされていた。

課題

経営者の話を聞くことができる貴重な機会であったが、参加人数は少なめであった。

質問が多く飛んだので、講義形式ではなく交流会形式の方が聞きたいことを聞けたのではないかと。

(2) いたみアーカイブ部「昆陽井～いにしへの治水技術を辿るまちあるき～」＜報告＞

まちなかの風景や景観、記憶や記録を整理し、デジタルコンテンツとしてアーカイブしていく「いたみアーカイブ部」の活動の一環として、まちあるきを実施。

市社会教育課 中畔明日香さん解説のもと、昔の地図と現代の地形を見比べながら約2時間半かけて水路を辿った。20名近くの参加があり、まちあるきの人気の高さや関心の高さがうかがえた。

次回以降はWikipediaの編集など、まちあるきから得られた情報のアーカイブに取り組みます。

日時：4月14日（日）14時～

※「いたみ文芸ことそうし」・「カエボン部（テーマ：日本酒）」・「ビブリオバトル（テーマ：平成）」・「漫画を語ろう！」についても、企画者、ことば蔵より実施報告。

(3) かいごの「か」 第4回「介護とお金の話」＜概要決定＞

「お金について話してほしい」という声があったので、今回はファイナンシャルプランナー資格を持つ企画者が介護とお金について解説。

介護が始まる前に知っておきたいこと、考えておきたいことについて話します。

介護経験者による情報交換や、大人向けの絵本の読み聞かせも実施。

日時：5月19日（日）10時～ 参加無料・申込不要。

(4) 震災について<新規>

概要

2020年1月17日で、阪神・淡路大震災から25年が経過する。震災の記憶を風化させないためにも、学びの機会を作りたい。

内容：災害が来た際の基本対策などの講座。また、実際に現場に居合わせた人や救急隊員などに話をしてもらいたい。震災当時の写真や新聞の展示も合わせて開催したい。

日時：2020年1月17日前後の土日

対象：設けないが、親子で聞いてもらえれば嬉しい

意見

- ・東日本大震災の被災地に派遣された市職員などに講演してもらうのはどうか。
- ・ことば蔵ならではのものを展示にプラスできれば良いのではないか。
- ・災害救助犬（レスキュー協会）と関連させることができないか。
- ・阪神淡路大震災により災害ボランティアが広がり、1995年はボランティア元年と呼ばれる。ネガティブな内容ではなく、伊丹の方の成長や再起・ボランティアの広がりなど、ポジティブな内容に。

(5) 介護についての勉強会<新規>

概要

エンディングノートという取り組みが広がっている。残された家族が困らないようにするためには、死後について考えることが必要であり、それらを学ぶ場をつくりたい。

対象：シニア世代（お孫さんがおられる方など）

意見

- ・時代が進み、PCのパスワードや暗証番号をどうするのかといった問題もある。「蔵書家のためのエンディングノート」のように、テーマを絞ることで図書館らしさ、ことば蔵らしさを出してみてもどうか。

(6) 第4回タイトルだけグランプリ ことば蔵特別賞について

伊丹市民の応募作品の中からことば蔵特別賞を選定。受賞作品についてことば蔵より報告。

4 次回の運営会議 2019年5月8日（水）18：30～ 図書館ことば蔵1階交流フロア
夏休み期間に開催希望の講座・企画があれば、ぜひ5月の運営会議にて発表ください。